

平成29年度(第1回)

# 飯富市民センター運営審議会

日 時 平成29年7月6日(木)

午後2時～

場 所 水戸市飯富市民センター

2階 会議室

## 次 第

1. 開 会

2. 会長あいさつ

3. 議 題

(1) 平成28年度飯富市民センター利用状況について

(2) 平成29年度飯富市民センター運営方針及び重点目標について

(3) 平成29年度飯富市民センター事業計画について

(4) その他

4. 閉 会

(1) 平成28年度 飯富市民センター利用状況について

## 平成28年度 飯富市民センター使用状況報告書

平成29年3月末現在

利用場所等	利用者区分 (※注1)							27年度の 利用状況
	区分	市民 センター	社教団体	市	県	その他	合計	
ホール	件数	268	38	22	0	84	412	382
	人員	2989	1215	908	0	1316	6,428	5,578
和室	件数	8	5	0	0	4	17	18
	人員	47	61	0	0	31	139	178
会議室	件数	57	39	40	0	36	172	156
	人員	495	401	574	0	333	1,803	1,550
調理室	件数	31	4	1	0	5	41	36
	人員	387	41	10	0	60	498	471
図書室 (図書利用)	件数	0	0	0	0	20	20	19
	人員	0	0	0	0	20	20	19
合計	件数	364	86	63	0	149	662	592
	人員	3,918	1,718	1,492	0	1,760	8,888	7,796
センター外 主催事業 (※注2)	件数	4					4	4
	人員	116					116	108
センター外 共催事業 (※注3)	件数	23					23	8
	人員	2006					2,006	801
合計	件数	27					27	12
	人員	2,122					2,122	909
総計	件数	391	86	63	0	149	689	604
	人員	6,040	1,718	1,492	0	1,760	11,010	8,705
(注1) 利用者区分の内訳	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民センター ～ 高齢者団体、定期講座、運営審議会 等</li> <li>・社教団体 ～ 子ども会関係団体、夜間開放関連団体 等</li> <li>・市 ～ 水戸市関係部署</li> <li>・県 ～ 茨城県関係部署</li> <li>・その他 ～ 防犯協会、消防団、社協、民生委員 等</li> </ul>							
(注2) センター外主催事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・移動学習、歴史探訪、女性教養講座、高齢者大学 等</li> </ul>							
(注3) センター外共催事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ふれあい学級、中学校交流事業、各種スポーツ大会 等</li> </ul>							

(2) 平成 29 年度飯富市民センター運営方針及び重点目標について

## 平成 29 年度 水戸市飯富市民センター運営方針及び重点目標

### 運 営 方 針

近年、人口減少社会や超高齢社会の到来をはじめ、都市化の進展、価値観の多様化、生活圏の拡大など、市民を取り巻く状況は大きく変化している。

こうした状況にあっても、市民が安心して暮らし、幸せを感じられるまちを形成していくためには、今後ますます地域コミュニティ活動と生涯学習活動の推進が必要となる。

飯富市民センター（以下「市民センター」という。）においては、地域コミュニティ活動の拠点として、その継続や発展に向けた支援に努めるとともに、生涯学習活動の拠点として、その充実や成果を生かす環境づくりに努め、さらには、東日本大震災での経験を踏まえ、地域防災活動の拠点としての機能充実を図っていくものとする。

### 重 点 目 標

#### 1 地域コミュニティ活動の推進

##### (1) 地域コミュニティ活動の活性化

- (ア) 地域自らが地域の将来像や課題を共有し、特色のある地域づくりや課題の解決を進めることができるよう、地域コミュニティプラン実現に向けた取組への支援に努めながら、住みよいまちづくり推進協議会を中心とした自主的な活動を推進する。
- (イ) 各種コミュニティ団体等の活動を支援するとともに、NPO等との連携を促進しながら、よりよい地域づくりに向けた情報の共有化を進めるなど、地域コミュニティ推進体制の充実、連携強化を図る。
- (ウ) 町内会・自治会への参加意識や自治意識の高揚を図るため、地域団体や関係機関と連携しながら、地域コミュニティ活動内容を積極的に発信するとともに、地区会の基盤である町内会・自治会の加入率の向上に努める。
- (エ) 市民自らが意欲を持って地域活動に参加できるよう、一人一役運動を進めるほか、人材育成のための研修会を通して、地域を支えるリーダーづくりを推進する。

##### (2) 地域コミュニティ活動環境の充実

市民センターにおける様々な活動環境の一層の充実に向け、施設の利用状況や地域の実情等にあわせた運営に努める。

##### (3) 地域防災活動との連携

災害発生時の初動対応については、地域における防災組織が重要な役割を担うものであることから、平常時より、地域での防災訓練への支援、地域における災害リスクや連絡体制の確認を行うなど、地域における防災組織との連携を図る。

## 2 生涯学習活動の推進

### (1) 学習機会の充実

生涯学習活動の拠点施設である市民センターにおいては、「個人の要望」する学習による生きがいを進めるとともに、家庭教育への支援や青少年の健全育成、少子高齢化への対応などの「社会の要請」に応じた、現代的課題を取り扱った学習機会の提供に努める。

また、市民のライフスタイルに定着し生涯にわたって学び続けることができるような学習機会の提供に努める。

#### (ア) 市民ニーズを捉えた学習機会の提供

市民の学習ニーズを把握し、健康で生きがいのある充実した人生を送ることができるよう、生涯学習のきっかけづくりを図るとともに、それぞれの世代に合った学習機会の提供に努める。

#### (イ) 現代的課題を取り扱った講座の開催

変化の激しい社会情勢に対応していくために、成人学級、高齢者学級等の講座に現代的課題を取り扱ったテーマを組み入れるなどの手法により、地域課題を主体的に捉える学習機会の充実に努める。

また、地域団体と市民センターが一体となった協働事業を積極的に展開するよう努める。

#### (ウ) 家庭教育学級（ふれあい学級）等の開催

家庭は、子どもが基本的な生活習慣、生活能力、人に対する信頼感、豊かな情操、思いやりや善悪の判断、自立心や自制心、社会的なマナーなどを身につける上で重要な役割がある。

これまでのふれあい学級の内容に加え、未就園児や小学校低学年を中心とする家庭教育の支援を強化し、家庭が本来果たすべき役割を見つめ直し、親の役割、子どもの心の理解、躰など家庭での教育について考え、学び合う家庭教育学級等を開催する。

さらに、茨城県教育委員会が作成発行している「家庭教育ブック」等を活用し、小学校との共催により、就学時健康診断や入学説明会などの機会を捉えた家庭教育講演会を開催し、家庭の教育力向上に努める。

### (2) 学習の成果を活かす環境づくり

生涯学習の成果がボランティア活動や地域づくりに活かせるよう支援し、地域内の人材の発掘・育成を行うとともに、地域の活性化や特色あるまちづくりにつながっていくよう環境づくりに努める。

#### (ア) 地域資源の活用推進

市内には、歴史的な資産や史跡をはじめ博物館、歴史館などの文化施設、学校や大学などの物的資源やそれぞれの施設に所属する職員などの人的資源があり、豊かな地域資源に恵まれている。このような地域にある資源を活用した事業を開催するとともに、生涯学習の振興に取り組む機関や団体との連携を図りながら、地域資源の有効活用に努める。

#### (イ) 学習活動の成果を発表する場の創出

市民センターを会場に開催している講座の展示会や発表会など、学習の成果を発表する場を創出することにより、学習者同士や参加者との交流を拡大させ、新たなネットワーク構築に努める。

#### (ウ) 学習の成果を地域活動に活かす仕組みづくり

生涯学習の成果をボランティア活動や地域活動に活かすことが、地域の活性化に大いに役立

つもの期待されている。市民センターで学んだ市民が、その成果を地域コミュニティ活動につながるよう人材の育成と活用に努める。

#### (エ) 事業評価に基づく事業の推進

市民センターの講座や事業に参加した市民が日常生活の中で、学習の成果をどのように活かし、また、地域の中で、どれだけ活動に関わっているのかなど、事業の成果を検証することが求められている。

市民センターにおいては、実施した講座や事業について自己評価を行うとともに、自己評価をもとに、運営審議会等第三者機関による検証を行い、効果的な事業運営に努める。

### (3) 学校、家庭、地域の連携の強化

学校、家庭、地域が目標や課題を共有し、それぞれが連携して対応策について取り組めるシステムを構築し、地域社会全体の教育力の向上に努める。

市民センターにおいては、それぞれをつなぎ結ぶ地域拠点施設としての機能を十分発揮する。

#### (ア) 次代を担う子どもたちの「生きる力」を育む

学校、家庭、地域が相互に連携を図りながら、様々な形で異年齢集団との交流や大人と接する事業など、子どもたちが直接体験する場を提供し、社会全体で次代を担う子どもたちの「生きる力」を育む活動の推進に努める。

#### (イ) 社会全体で支える家庭教育

子どもたちが健全に成長していくためには、良好な家庭環境や社会環境を整える必要がある。そのために、家庭の教育力の向上だけでなく、学校、家庭、地域が一体となって子どもたちの成長を温かく見守りながら、家庭教育を社会全体で支える仕組みづくりに努める。

(3) 平成 29 年度事業計画について

月	実施事業名	
	主催事業	共催事業
4	○各種定期講座（教室）受講生募集 ○定期講座（クラブ）受講生募集	
5	○各種教室・クラブ開講	
6	○飯富長寿大学開講式及び移動学習（足利学校他）21 日 ○ふれあい学級「親子工作教室：親子でおもちゃを作ろう！」22 日	○飯富市民センター・だるま敷地清掃 3 日 ○北部ブロック春季球技大会 4 日
7	○第 1 回市民センター運営審議会 6 日 ○飯富女性教養講座移動学習（北茨城方面）11 日 ○飯富長寿大学「竹箒作り」28 日	○那珂川クリーン作戦参加 2 日 ○飯富地区ママさんソフトバレーボール大会 9 日 ○飯富学区野球大会 9 日 ○飯富地区防災研修会 29 日
8	○単発講座（子ども絵画教室）1 日	○お父さんソフトボール大会 13 日
9	○中学生生涯学習体験交流 日（1 回目） ※中学生が市民センター定期講座受講生と交流して生涯学習体験をする	○飯富市民センター・だるま敷地清掃 16 日 ○集まれチャレンジャーPart1 日
10	○ふれあい学級移動学習 3 日 ○中学生生涯学習体験交流 日（2 回目） ○飯富女性教養講座 日	○学区内歩く会 1 日 ○飯富地区市民運動会 8 日
11		○北部ブロック秋季球技大会 12 日 ○飯富地区ミックスバレーボール大会 19 日 ○飯富祭り 26 日 ○集まれチャレンジャーPart2 日
12	○飯富長寿大学「閉講式」15 日 ○単発講座（子ども書道教室） 日	○飯富地区ゴルフ大会 5 日
1	○ふれあい学級 日	○みと郷土かるた飯富地区大会 日
2	○第 2 回市民センター運営審議会 日	○飯富地区ボウリング大会 3 日
3	○飯富女性教養講座「閉講式」 日	

※ 日付が空欄の事業は日程が未定のもの